

科目名	国際関係論	単位数	2単位	学期	前期
担当教員	瀬戸 裕之		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-21-A-1-110039	国際学部A：グローバルな課題に批判的な問題意識をもち、国境を超えた個別具体の問題への認識を深める国際教養および研究手法を体得していること			
授業の目的	本講義では、「グローバル化が進む世界での戦争と平和」をテーマに、現在の国際関係を理解するための基礎知識を学びます。前半は、冷戦後に発生した主な紛争の特徴と経緯を学び、後半は、紛争にともなう諸問題について学ぶことで、市民の立場で国際関係を学ぶ重要性を理解することを目的とします。				
学修到達目標	冷戦後から現在までに国際社会において発生してきた民族紛争・対テロ戦争・内戦の事例をみることで、現在の紛争が持つ「非国家・非対称」といった特徴を理解するとともに、主に国連を中心とする紛争の防止・解決のための試みや困難を理解することで、国際関係を考えるための基礎知識を身につけることができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	導入
第2回	国際社会の特徴
第3回	国際関係をみる視点

第4回	冷戦の開始と展開
第5回	冷戦の変容と終結
第6回	冷戦後の民族紛争
第7回	「対テロ戦争」を考える
第8回	内戦について考える
第9回	国連と武力行使
第10回	戦争犯罪は裁けるか
第11回	兵器規制について考える
第12回	難民の人道的保護を考える
第13回	戦争と子供たち

第14回	日本の安全保障を考える
第15回	新潟から国際関係を考える
第16回	期末レポート

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。テレビ・新聞・インターネットを通じて関連事項について予習する。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	各回への出席とコメントカードの提出（50%）、期末レポート（50%）の評価。
フィードバック方法	各回に学生から提出されたコメントカードを紹介し、学生から出された質問やコメントに対して説明する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	

教科書/参考書	指定しない。参考すべき図書は、授業中に紹介する。
受講上の留意点等	1年次前期に受講することをお勧めします。受講生は、筆記用具を持参してください。
JABEE	